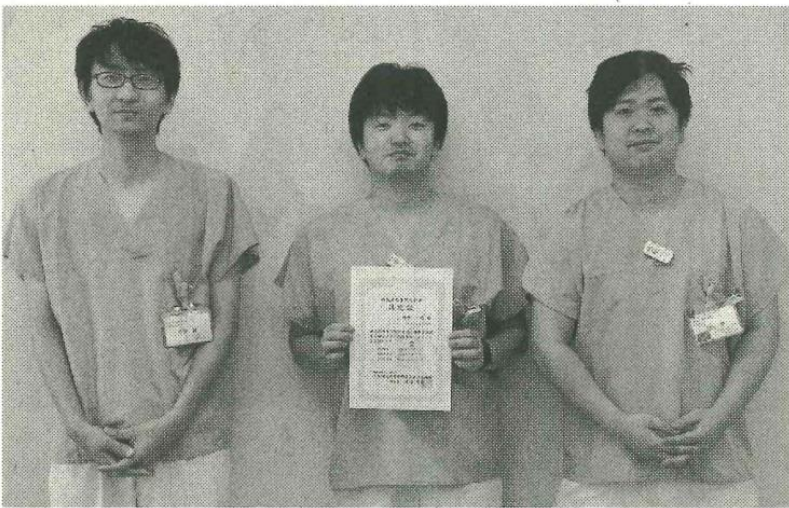


製鉄記念室蘭病院・竹中さん

「磁気共鳴専門技術者」に

「最善の画像提供する」



うに努めていきたい」と意欲を燃やす。

同病院の磁気共鳴専門技術者は、竹中さんのほか、合田修さん(37)と相田昂さん(28)の3人となった。同病院によると、この資格の取得者が3人所属しているのは「道内の大学病院に次ぐ人数」といい、3人は「地域医療のさらなる充実のため、全力を尽くしたい」と話している。(松岡秀直)

「磁気共鳴専門技術者」の資格を取得した竹中さん(中央)。同病院には、合田さん(左)、相田さんの3人が在籍する

室蘭市の製鉄記念室蘭病院(前田征洋病院長)の診療放射線技師、竹中一馬さん(30)がこのほど、「磁気共鳴(MR)専門技術者」に認定された。同病院では3人目の認定者で、竹中さんは「病気の早期発見の手助けや治療が必要な患者のために、最善の画像を提供できるよう努力したい」となご話す。

「磁気共鳴専門技術者」は、磁気共鳴画像装置(MRI)撮像技術の標準的なレベルアップを目的に、MR装置操作技術に関連する学術7団体で構成される日本磁気共鳴専門技術者認定機構が認定している。

竹中さんは入職8年目。学生時代から「放射線

の被ばくがなく、多くの情報が得られるMRIの分野に興味があった」という。MRI検査は多くの撮像法があるが、日常の業務で携わっていくうちに「臨床技術を含めた幅広い知識が必要となる磁気共鳴専門技術者の資格取得に挑戦したいと思うようになった」と話す。MRIについて、竹中さんは「得られる情報が多く、他の検査では代用が難しい検査」と強調。これからも変わらずに「みなさんに安心して検査を受けていただけるよ